



Mica Panel Heater

デロンギ
マイカパネルヒーター

型式番号

HMP900J

※本体の型式番号「HMP900J」の後に続くハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。

- ▶ 900W/450W
- ▶ 転倒時自動電源遮断装置付

家庭用



Made in China

取扱説明書 (保証書付)

この度は、デロンギ マイカパネルヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	1~5
知っておいていただきたいこと	6
キャスターの取り付け方	6
各部の名称とはたらき	7
操作手順	8
ヒーターの上手な使い方	9
お手入れ／保管のしかた	9
補足 凍結防止機能に関して	10
これは故障ではありません	10
仕様	10
故障かな?	11~12
まごころ点検について	13
アフターサービス	13
電源プラグ・コードの安全チェックシート	14
保証書	裏表紙

HMP900J の特長

●即暖型ヒーター

電源を入れるとすぐに暖房が始まる — 即暖型のヒーターです。

●マイカパネル採用

絶縁体にマイカを採用しています。パネルは赤く光りませんので、就寝時などに気になることはありません。

●軽量薄型モデル

重さわずか 4.6kg、幅 69.5cm、奥行 26.5cm、高さ 56.5cm の省スペース設計です。

●安全設計

- ・温度過昇防止装置が内蔵されています。
- ・万一転倒しても、自動的に電源が切れますので、安全です。

★キャスターの取り付け方(6 ページ)をお読みのうえ、キャスターをヒーター本体の底面両端に取り付けて下さい。

安全上のご注意

各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。

⚠️ 危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。

⚠️ 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠️ 注意

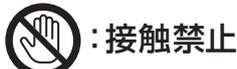
この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



: 禁止



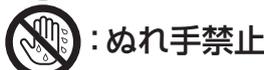
: 接触禁止



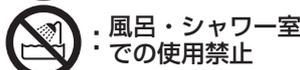
: 水ぬれ禁止



: 分解禁止



: ぬれ手禁止

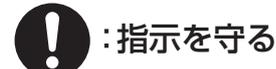


: 風呂・シャワー室での使用禁止



: 覆い被せ禁止

この絵表示は必ず実行していただく「強制」内容です。



: 指示を守る

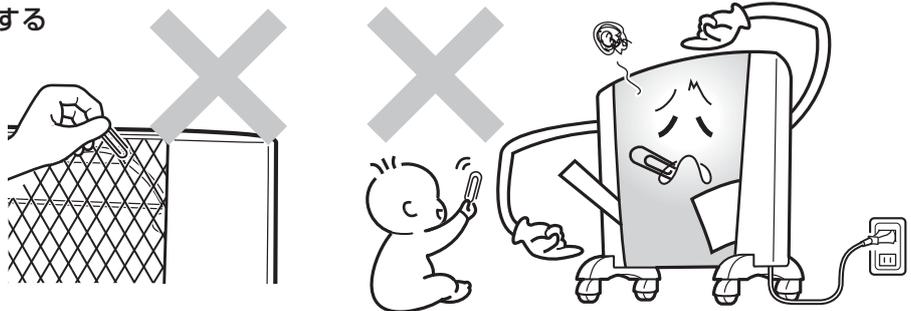


: 電源プラグを抜く

⚠️ 危険



穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない。
特に子供のいたずらに注意する
感電やケガをすることがあります。



⚠️ 警告

【電源 / コンセントについて】



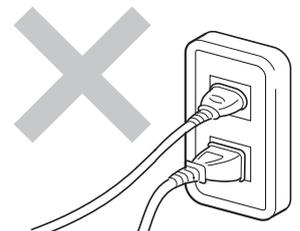
電源は交流 100V (50/60Hz) で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

15A 125V



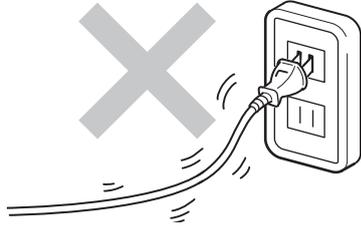
コンセントは本製品だけ（単独）で使用する
コンセントの差込み口が2つある場合は片方の差込み口を使用しないでください。



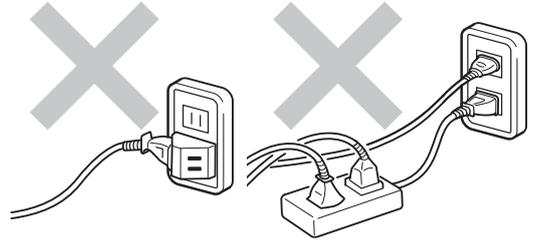
警告

【電源 / コンセントについて】

取付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取付けの悪い（ガタツキのある）コンセントや差込み口（刃受）のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。



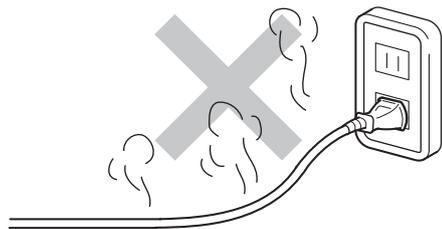
延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない
コンセントや電源プラグ / 電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。



【電源プラグ / 電源コードについて】

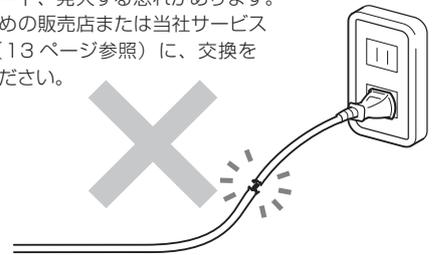
電源プラグ / 電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

ヒーターの運転中に、電源プラグ / 電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電力切替ダイヤルで電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または当社サービスセンター（13 ページ参照）に、ご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。

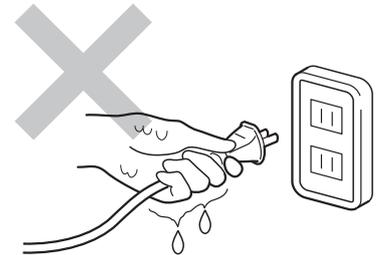


変形・破損している電源プラグ / 電源コードは絶対に使わない

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または当社サービスセンター（13 ページ参照）に、交換を依頼してください。

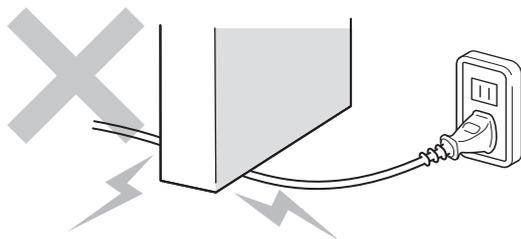


ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。

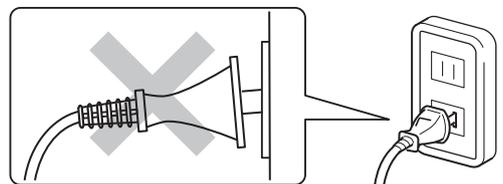


電源プラグ / 電源コードを破損するようなことはしない

電源プラグ / 電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

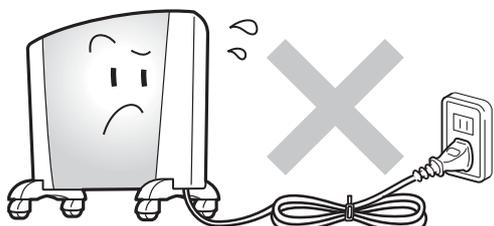


電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。



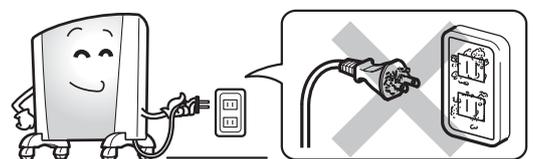
動作中に電源プラグを抜き差ししない
ヒーターの運転中に、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・火災の原因になります。

運転の際に電源コードが余っても束ねない
熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。



電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く

ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



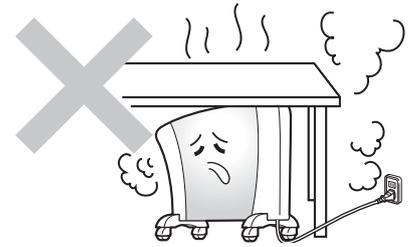
警告

【設置場所について】



テーブルや机の下で使わない

ヒーターの上部は、燃えやすいものから約 1m 以上の距離を取ってください。ヒーターの上部をふさぐと、空気の対流ができず高温となり、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。



【使用中／使用後について】



逆さまや横倒し、立てかけて使わない

火災や故障などの恐れがあり、危険です。



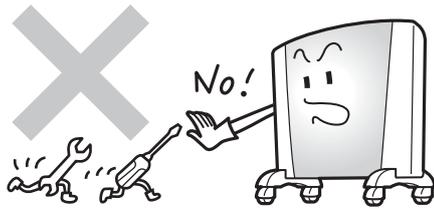
スプレー缶などを本体の近くに置かない

スプレー缶が破裂し、火災の原因になります。



本製品を分解したり、改造をしない

故障や発火の恐れがあります。



お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない

ヤケド・感電・ケガの原因になります。



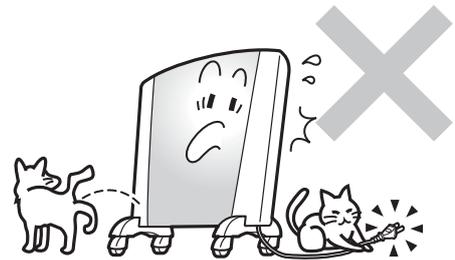
カーテンなど燃えやすいものの近くで使用しない

カーテンなどが本体を覆ってしまうと、過熱により火災の恐れがあります。



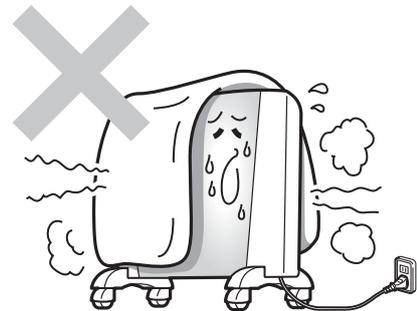
猫や犬など、ペットの暖房に使わない

ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。



本体をタオルや毛布などで絶対に覆わない

本体にタオルや毛布などをかけたり、濡れたもの（洗濯物など）の乾燥に利用しないでください。過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



【運転中について】



異常が生じた場合は、使用を中止する

万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または当社サービスセンター（13 ページ参照）までご連絡ください。



ヒーターに寄りかからない

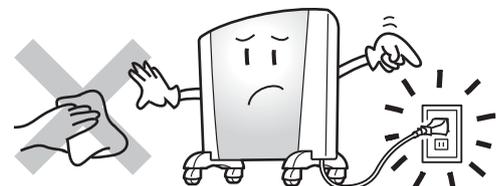
ヒーターを踏み台にしたり、腰をかけたり、寄りかかったりしないでください。ヤケド・感電・ケガの原因になります。

【お手入れについて】



本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う

ヤケド・感電・ケガの原因になります。



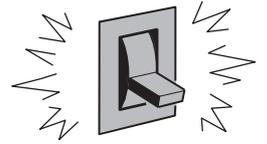
⚠ 注意

【電源について】



ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する

ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。詳しくは、6 ページ「知っておいていただきたいこと」を参照してください。

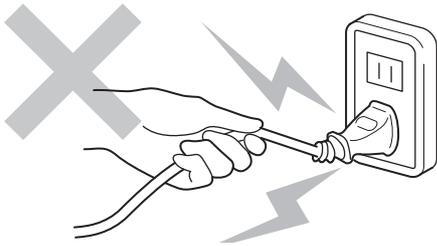


【電源プラグ／電源コードについて】



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



運転中は、電源コードを本体に触れさせない

熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。



電源コードを引っ張らない

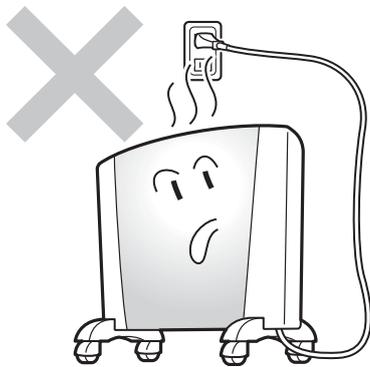
電源コードを引っ張ると、コードの接続部が傷み、感電やショートの原因になります。

【設置場所について】



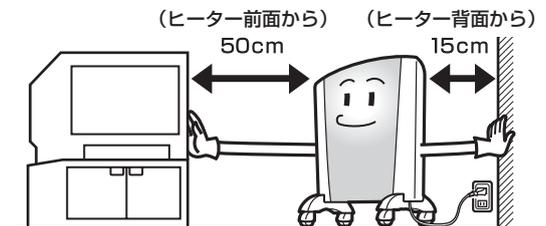
電源をとるコンセントのすぐ下で使わない

暖気で電源コード／電源プラグが変形・変質し、故障などの原因になります。



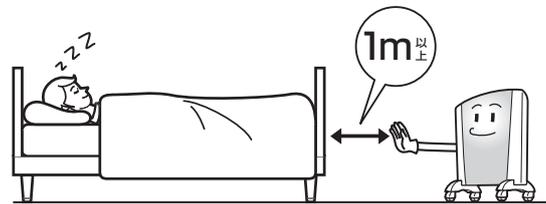
壁やカーテンなどから離して設置する

ヒーター背面と壁の間は 15cm 以上 離してお使いください。また、ヒーター前面と家具、他の電気製品、壁、カーテンの間は 50cm 以上 離すようにしてください。材質によっては、ヒーターの熱で変色／変質する恐れがあります。



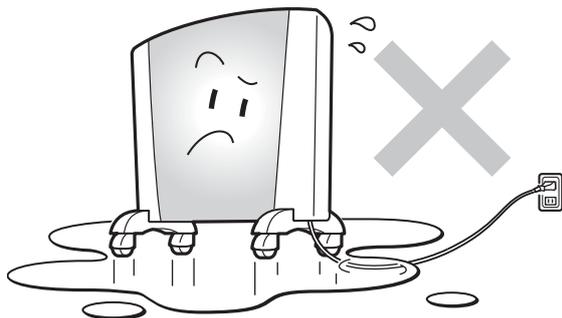
人や家具などからは、1m 以上 離す

ヒーターを寝室でご使用になる場合、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して約 1m 以上の距離を取ってください。



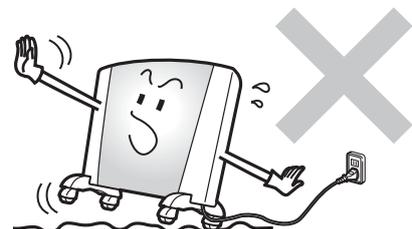
屋外や水／湿気が多い場所（部屋）、浴室で使わない

ショートや感電の恐れがあります。また、硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害の恐れがある場所で使用しないでください。故障の原因となります。



毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置く

ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。



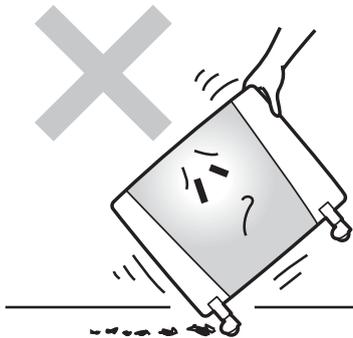
⚠ 注意

【使用中／使用后について】

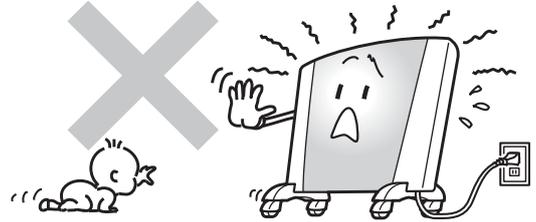
! 使用時は必ずキャスターを取り付ける
付属のキャスターを、必ず本体底面の両端に取り付けてください。
(次頁参照)

! 本体が転倒・落下したときには、使用せず、
点検を依頼する
感電・火災・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下してしまった場合は、直ちに電源を切り(=運転中止)、お求めの販売店または当社サービスセンター(13ページ参照)までご連絡ください。

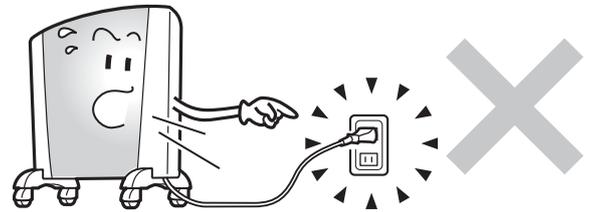
! ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行う
床面が傷つく場合がありますので、必ずキャスターを床面に付けてゆっくり移動するか、取っ手に指を入れ、本体を持ち上げて移動してください。



! 小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う
運転中および運転していないときも、お子様がヒーターのそばにいるときは大人の方が付き添ってください。特にキャスター等に触れさせないようにご注意ください。

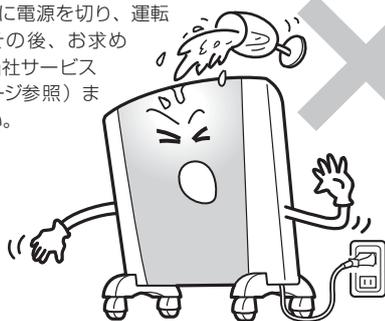


! 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
誤って、電源が入る恐れがあります。

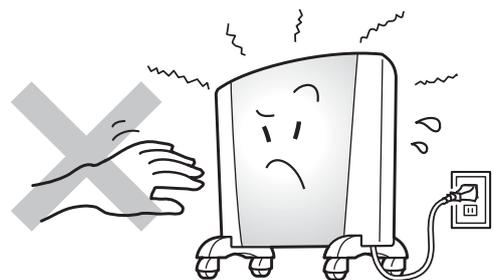


【運転中について】

! 本体や操作部に水やジュースをこぼさない
本体や操作部(電力切替えダイヤル、サーモスタット)に、水やジュース(液体)などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。その後、お求めの販売店または当社サービスセンター(13ページ参照)までご連絡ください。

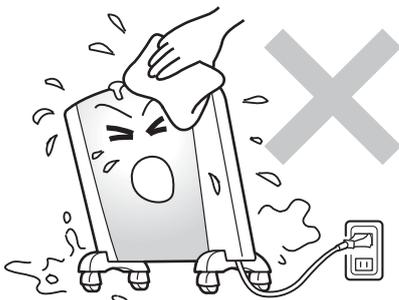


! 運転中および停止直後は、本体表面に触れない
表面は高温になりますので触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。

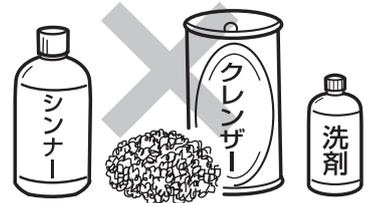


【お手入れについて】

! 絶対に水に浸したり、水洗いをしない



! 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使わない



知っておいていただきたいこと

定格電流について

本製品の定格電流は、9A（アンペア）です。ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、契約電力（電気料金の請求書「基本契約欄」に00Aと記載）を超えていない

かどうか確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100(\text{V: 電圧})}$$

ブレーカーについて

ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。契約電力が不足している

場合や、足りていても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。

電気代(目安)について

1時間当りの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（断熱および密閉性能など）により異なってきますが、おおよそ右記の通りです。（1kW/h = 22円として算出した場合）

電源を入れてから
30分から1時間
（電力レベル=MAX）

部屋が適温に達した後
サーモスタットで調節
（ヒーター稼働率:60%の場合）

約20円/時間

約12円/時間

キャスターの取り付け方

キャスターは取り付け方向が決まっています。

①ヒーター本体を仰向け（底面を上）にします。

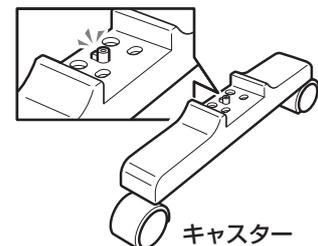
※本体が倒れやすいので、片手でしっかりとささえてください。

※床に直接置かず、タオルなどの柔らかいものを敷いてその上に置いてください。

床材によっては床面が傷つく恐れがあります。

②キャスターをヒーター本体底面の両端に取り付けます。

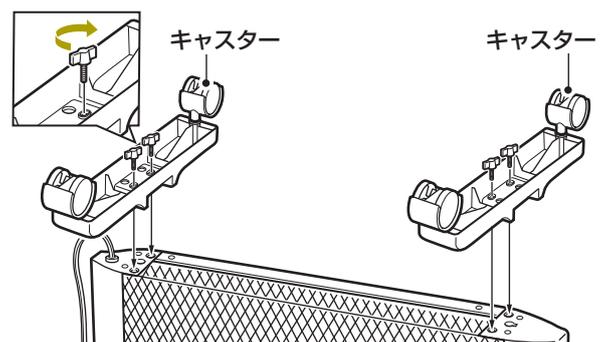
キャスターは取り付け方向が決まっています。キャスターの突起とヒーター本体底面の孔を合わせ、奥までしっかりとはめ込んでください。



③キャスターを2つとも、固定用ネジでしっかりと固定します。

キャスターには4つの穴があいています。

楕円形の穴2つに固定用ネジを差し込んで、しっかりと固定してください。



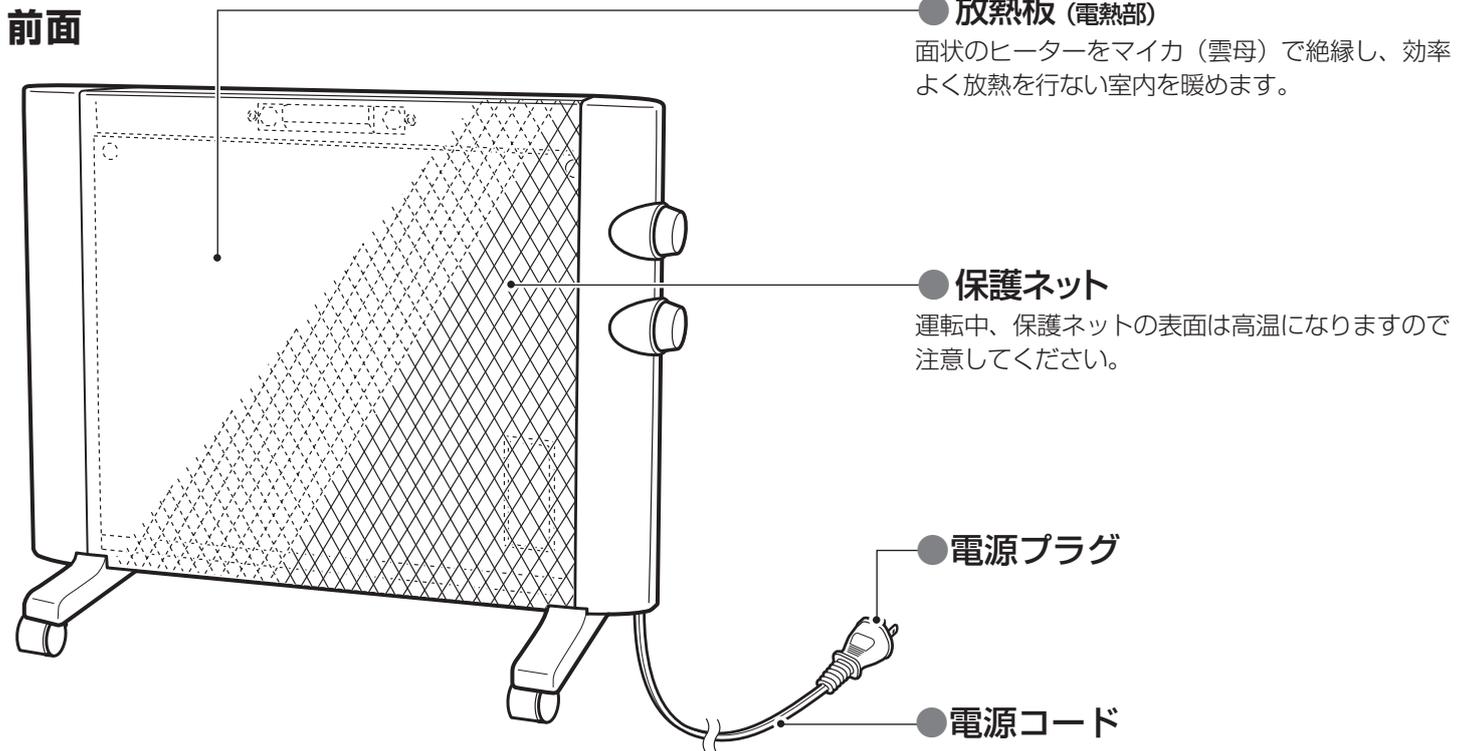
④本体をゆっくり起こし、取り付け完了です。



注意

ヒーターの転倒や事故を防ぐため、必ずキャスターを本体底面の両端に取り付けてください。

各部の名称とはたらき



操作部

電力切替えダイヤル ●

電源スイッチを兼ねたダイヤルで、ダイヤルを回して「MIN (弱: 450W)」または「MAX (強: 900W)」に合わせると電源が入ります。「OFF」に合わせると電源が切れます。

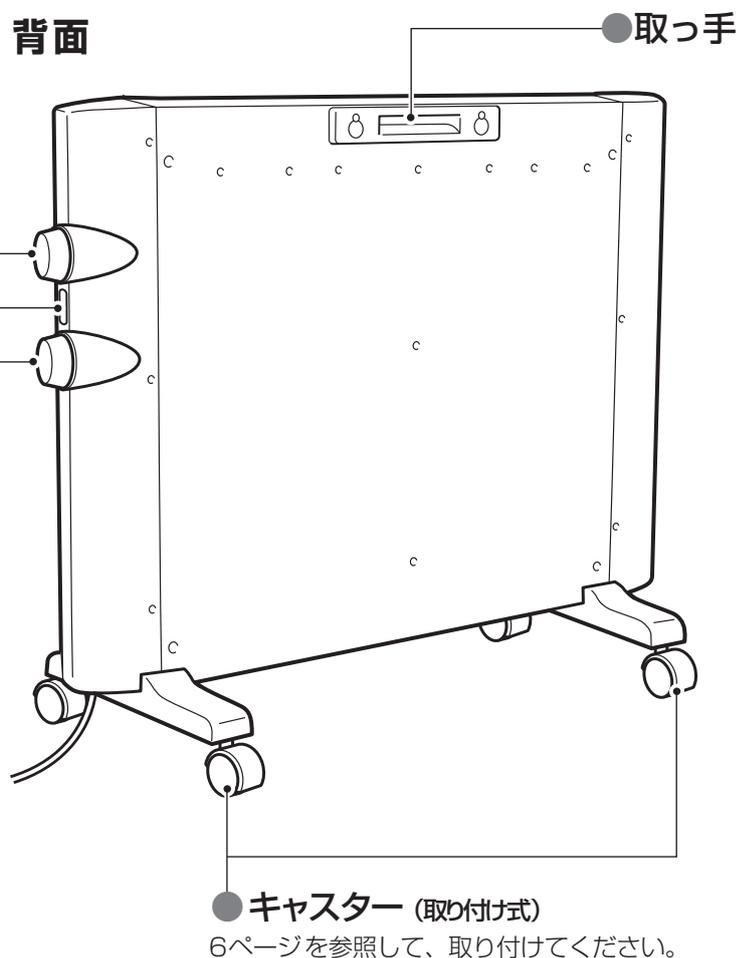
パイロットランプ ●

電力切替えダイヤルを回して電源を入れると点灯します。サーモスタットの設定により消点灯 (電源の ON/OFF) を繰り返します。

サーモスタットダイヤル ●

室温 (= 適温) の設定に使用します。設定後はヒーターの運転を自動制御し、適温を一定に保ちます。ダイヤルを上 (時計回り) に回す (数字が大きくなる) ほど温度が高くなります。

背面



ヒーターを移動するときのご注意

床面が傷つく場合がありますので、キャスターを床面に付けてゆっくり移動するか、取っ手に指を入れ、本体を持ち上げて移動してください。

付属品：キャスター (2 個)、固定用ネジ (4 本)

操作手順

1



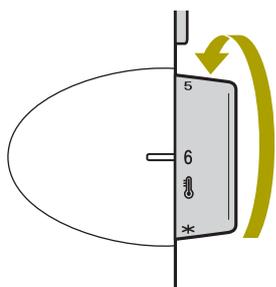
電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグを壁面コンセントに直接差し込みます。根元までしっかりと入れてください。



延長コードは絶対に使用しないでください。

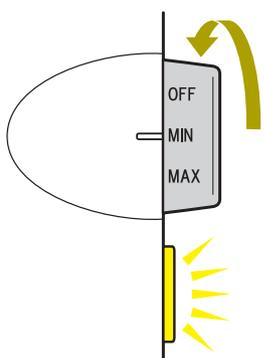
2



サーモスタットダイヤルを最大にセットする

サーモスタットダイヤルを上（時計回り）に回して「6」に合わせ、出力レベルを最大にセットします。

3



暖房運転を開始する（電源を入れる）

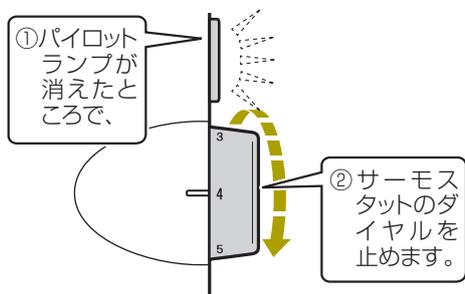
「MAX」電源オン（強：900W）	「MIN」電源オン（弱：450W）	「OFF」電源オフ

電力切替えダイヤルを回して、ご希望の電力レベル（上図表を参照）に設定します。電源が入るとパイロットランプが点灯し、暖房運転が始まります。お部屋を早く暖めたい場合は、電力レベルを「MAX」に設定してください。

ヒント

電力切替えダイヤルを「MAX」ではなく、「MIN」に設定することにより、エネルギーの消費を抑えることができます。ご使用時の外気温やお部屋の広さ、断熱性能に応じて使い分けてください。

4

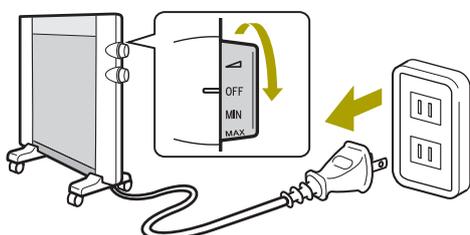


サーモスタットダイヤルを設定する

お望みの温度（＝適温）に達したら、サーモスタットダイヤルを下（反時計回り）にパイロットランプの消えるところまで回して止めます。これで適温が設定され、後は自動的に電源のON/OFFを繰り返しながら適温を保ちます。（→パイロットランプも消点灯を繰り返す）

▶ 適温を上げるときは、上（時計回り）に回し、下げるときは下（反時計回り）に回します。

5



暖房運転を停止する（電源を切る）

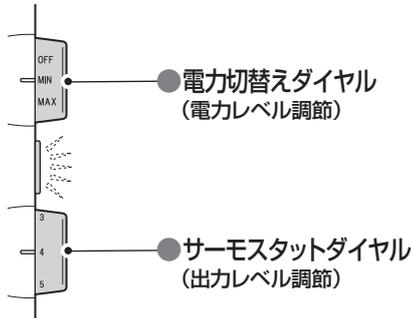
電力切替えダイヤルを回して「OFF」（電源オフ）に設定し（パイロットランプ消灯）、電源プラグをコンセントから抜きます。



高温注意：本体は、停止後もしばらくは熱いので、触れないでください。

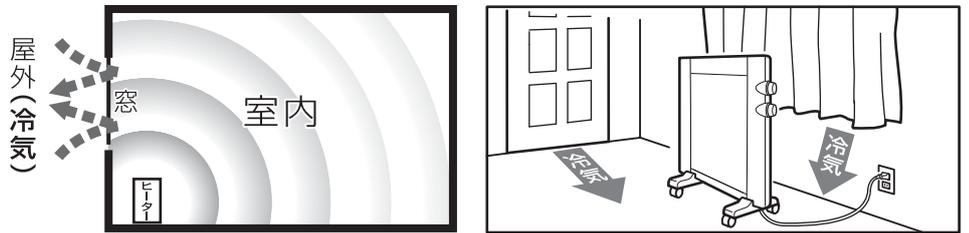
ヒーターの上手な使い方

節電対策



サーモスタットダイヤルと電力切替えダイヤルの両方を上手に活用することで、ムダな暖め過ぎを防ぎます。お部屋が暖まったら、「出力レベル」および「電力レベル」を下げるようにしてください。

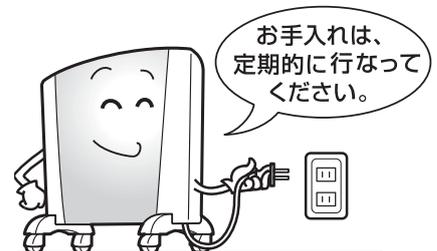
効果的な設置場所



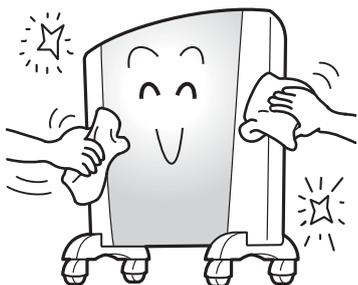
室内で、窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。また、窓に厚手のカーテンをしたり、ドアの開閉頻度を減らすなどの工夫をすることで、より効果的な暖房が得られます。(注意：ヒーターにカーテンが覆いかぶさらないようにしてください。)

お手入れ／保管のしかた

- お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行なってください。
- 水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。
- 保管する際は、必ず事前にお手入れをし、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。



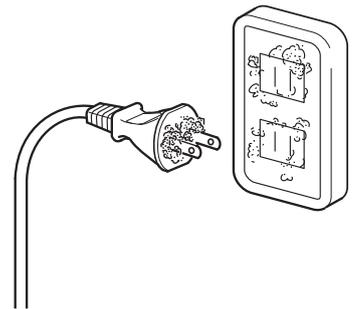
- 本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



- 本体および壁と床とのすき間に溜まっているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



- 壁面コンセント (刃受) および 電源プラグ (栓刃) に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



補 足

凍結防止機能に関して



サーモスタットダイヤルを ***** マークに合わせ、電力切替えダイヤルを MIN または MAX の目盛に合わせておくことで、凍結防止機能が働きます。周辺温度が 5℃以下になった場合に、周辺温度が約 5℃になるようにヒーターが運転を始めます。植物等を凍結から保護するために便利な機能です。

周辺温度が 5℃以上の場合は、パイロットランプは点灯しません。

これは故障ではありません

初期使用時の臭いについて

最初は、新製品特有の臭いを感じる場合があります。これは、ヒーターの耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。数日ご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

操作部の青白い光

周囲が暗いと、サーモスタットがある操作部内に青白い光が見えることがあります。これはサーモスタットが、自動的に電源を ON / OFF する際のもので、故障ではありません。

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル (PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル (PBDE) の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



仕 様

製 品 名 称	デロンギ マイカパネルヒーター	
型 式 番 号	HMP900J	
適 用 畳 数	2～6畳	
定 格	電 圧 / 周 波 数	交流 100V / 50/60Hz
	消 費 電 力	450W・900W
外 形 寸 法 / 質 量 (※)	幅 69.5cm × 奥行 26.5cm × 高さ 56.5cm / 4.6kg	
安 全 装 置	転倒時自動電源遮断装置・温度過昇防止装置	
付 属 品	キャスター×2、固定用ネジ×4	

※外形寸法および質量の各数値は、キャスターを取り付けた状態のものです。

故障かな？

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電力切替えダイヤルを回して「OFF」に設定して電源を切り(=運転を中止し)、

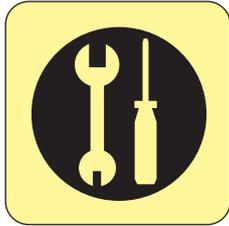
症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
電力切替えダイヤルを回してもパイロットランプは点灯せず、ヒーターも暖かくなりません	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ(栓刃)を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットダイヤルを、パイロットランプが点灯するまで上(時計回り)に回します。お望みの温度(適温: 体感温度)になったら、ダイヤルをゆっくりと下(反時計回り)に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。
		サーモスタットダイヤルの目盛を今より大きい数字に合わせます。
	本体が布団やカーテンなどで覆われている	本体を布団やカーテンなどで覆わないでください。本体が異常過熱すると、安全装置が作動し、電源が自動的に切れます。 万一、安全装置が作動した場合は、電力切替えダイヤルを回して電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜き、本体を冷ましてください。 その後、通常の使用手順にしたがって暖房運転を再開してください。 少しでも気になる点がございましたら、当社サービスセンター(13ページ参照)にご連絡ください。
電力切替えダイヤルを回すと、パイロットランプは点灯しないがヒーターは暖かくなる	パイロットランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または当社サービスセンター(13ページ参照)にご連絡ください。
長時間使用しても、一度もパイロットランプが消えない	サーモスタットが故障している可能性あり	サーモスタットダイヤルを、パイロットランプが消えるまで下(反時計回り)に回してみます。止まるまで回してもパイロットランプが消えない場合は、お求めの販売店または当社サービスセンター(13ページ参照)にご連絡ください。
使用中、電源プラグ/電源コードが異常に熱くなる(目安: 約40℃)	延長コードを使ったり、タコ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格15Aの壁面コンセントに直接差し込みます。
	電源プラグ(栓刃)を、根元までコンセントに差し込んでいない	電源プラグ(栓刃)を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は13ページ「アフターサービス」を参照してください。

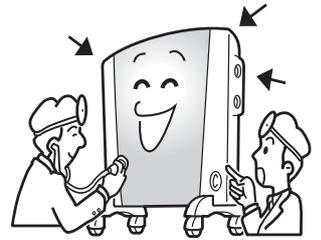
症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる (目安：約40℃)	差込み口（刃受）が2つあるコンセントで、両方の差込み口を使用している	差込み口（刃受）が2つある壁面コンセントを使用する際は、必ず、片方の差込み口を空けてください。
	コンセントがガタついたり、差込み口（刃受）がゆるい	お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形・破損している	お求めの販売店または当社サービスセンター（13ページ参照）に、修理・交換を依頼してください。
	電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。
	電源コードを束ねた状態で使用している	電源コードは、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。
	電源プラグやコンセントに、ゴミやホコリが付着している	定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除いてください。
部屋が暖まらない ※暖房する部屋の諸条件（断熱材や位置など）によって異なります	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットダイヤルを上（時計回り）に止まるまで回し、出力レベルを最大にしてください。
	ヒーターを、ドア（出入口）付近に置いて使用している	ヒーターの暖気が逃げってしまうので、ドア（出入口）から離れた場所に置いて使用してください。また、窓近くで発生するダウンドラフト（冷気の侵入）を防ぐには、窓下付近に置いて使用するのが効果的です。

まごころ点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をおすすめします。

保証期間（3年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預り）をおすすめします。点検の依頼および料金等につきましては、当社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。



アフターサービス

1) 使用中に異常（★）が生じた場合は、直ちに電力切替えダイヤルで電源を切り（＝運転中止）、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、11～12ページ「故障かな？」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

-----く★以下のような場合には、点検および修理が必要です-----

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体や操作部に、水やジュース（液体）などをこぼした
- ・本体に、強い衝撃（転倒・落下）を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

2) 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期 ②製品名称と型式番号③故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して当社サービスセンター（下記参照）に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。

※お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ（下記参照）にてご確認ください。

3) 保証期間中（3年）は、保証書に記載されているものについては無料で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有料で修理いたします。

4) 補修用性能部品の保有期間について

当社では、このヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5) デロンギ再資源化システムについて：



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、当社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送り先については、事前にお電話あるいは下記ホームページにてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社サービスセンター（下記参照）までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター（受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30～17:00）

コールセンター Tel.0120-804-280 / Fax.045-450-3291

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫（株）内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ（URL）—— <http://support.delonghi.co.jp>

電源プラグ・コードの安全チェックシート

近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記のチェック項目に従って、使用時だけでなく、定期的に電源プラグ、電源コード、コンセントの点検を行ってください。

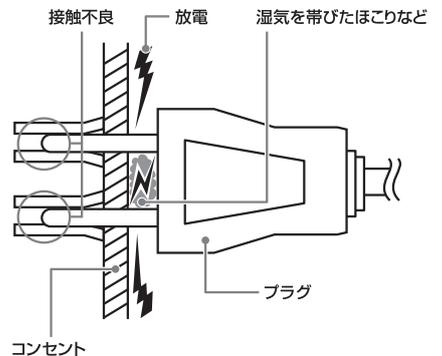
トラッキング現象とは ...

長期間、電源プラグをコンセントに差し込んだままにすると、徐々に電源プラグとコンセントの間にホコリが溜まります。そのホコリに湿気が加わることによって、プラグの両極間に微小の電流が流れます。この状況が長期間続くと、電源プラグの刃と刃の間の樹脂部分（絶縁材）が徐々に炭化し、電気の筋道（導電路：トラック）が作られます。やがて電気の筋道に大量の電流が流れるようになり、最終的にはショート（短絡）して、発火の原因となります。これを「トラッキング現象」といいます。

電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

電源コードを引っ張ったり、電源プラグを根元までしっかりとコンセントに差し込まないと、電源プラグとコンセントの接触が不十分な状態（接触不良）で電流が流れることになり、コンセント部が発熱します。この状態のまま放置していると、コンセントの刃受のばね圧力が劣化します。さらに発熱することでアーク現象（空中放電）が発生し、発火の原因となります。

AC100V

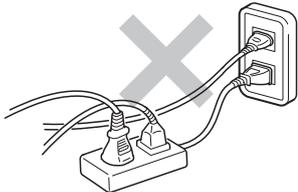


☑ 壁面コンセントを単独で使っていますか？

壁面コンセントは、定格容量 15A のものをお使いください。また、他の器具と併用すると容量オーバーになり異常発熱し、発火の原因になります。

2口コンセントは片方を空けて、単独でご使用ください。

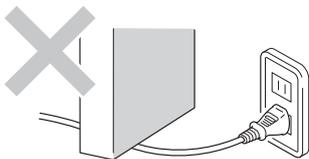
☑ 延長コード、テーブルタップを使っていますか？



コンセントや電源プラグ／電源コードが異常に発熱し、発火の原因になります。

延長コード、テーブルタップの使用は避け、電源は壁面コンセントから直接お取りください。

☑ 電源コードに重いものが載っていませんか？



家具等の下敷きになった電源コードは、無理な力が加わり、電源コードの中の細い銅線が断線することがあります。最悪の場合には発火の原因になります。

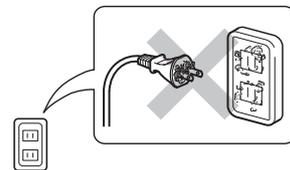
電源コードを家具等で踏んだり、壁に押し付けたりしないでください。

☑ 電源コードを束ねたままではありませんか？

ヒーター運転中は電源コードの温度が人の体温程度（約 40℃）になります。電源コードを束ねたままお使いになると、熱の逃げ場がなくなり、異常発熱し発火の原因になります。

余った電源コードは、伸ばしたままお使いください。

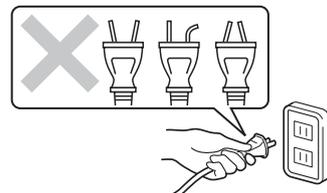
☑ 電源プラグやコンセントにホコリがついていませんか？



電源プラグとコンセントの接触面にホコリや湿気が付着すると、トラッキング現象が発生し、発火の原因になります。

定期的に、電源プラグやコンセントに付着したホコリを掃除機などで取り除いてください。

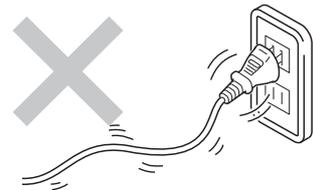
☑ 電源プラグが変形していませんか？



曲がった栓刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受を変形させる原因となります。

ペンチなどで手直しをしないで、お求めの販売店または当社サービスセンターにプラグの交換をご依頼ください。

☑ コンセントにガタツキはありませんか？



刃受のばね圧力が劣化したコンセントを使用すると、電源プラグと十分な接触が得られず異常発熱し、発火の原因となります。

コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。

保証書

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。

持込修理

製品名：デロンギ マイカパネルヒーター		型式番号：HMP900J	
お客様	ご氏名： _____ 様	TEL： _____	
	ご住所：〒 _____		
販売店	※店名・住所： _____		
	印		
※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日		保証期間：お買い上げ日より3年間	
		保証対象：本体	

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行なうことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社サービスセンターに直接ご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - 本書のご提示がない場合
 - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷
 - 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - 一般家庭用以外（例えば業務用、車輦、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

6. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記のデロンギ・ジャパンサービスセンターにお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 修理メモ

デロンギ・ジャパン株式会社

サービスセンター
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9
安田倉庫(株)内 4号ビル
Tel. 0120-804-280

W-1107K



デロンギ・ジャパン株式会社 サービスセンター

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内 4号ビル
ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。